

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_ 得点 \_\_\_\_\_

Q1: 以下の空欄を埋めなさい。一重下線は数式・記号, 二重下線は文字が入る(5×6=30).

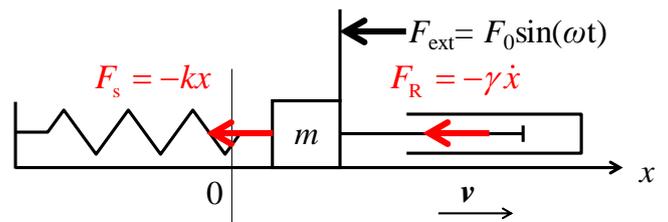
下図のようにばね, おもり, ダンパーからなる系に, 周期的な外力を与える. 運動は初期条件に依存し減衰する \_\_\_\_\_ 項と, 初期条件に依存せず永続する \_\_\_\_\_ 項の和で表される. ダンパーがばねに比べ弱いとき,  $\omega$  が \_\_\_\_\_ に近いと運動の振幅が大きくなる. これを \_\_\_\_\_ という. ときとして振幅が破壊につながるほど大きくなり, 危険である. 外力の $\omega$ が一定のとき, これを避けるための方法として

- \_\_\_\_\_
- \_\_\_\_\_

などが考えられる(変数でなく, 具体的に「何」を「どうする」かで答えよ).

Q2: 右図のような, 周期的な外力が働くおもりの運動を解析する.

(1) 運動方程式を書きなさい(10).



以降は $2\kappa = \gamma/m$ ,  $\omega_0^2 = k/m$ と置き直し, 運動を解析する. 解答も $\kappa$ ,  $\omega_0$ を使うこと.

(2) 以下の手順で非斉次形の特解を求めよ(10).

定常解を $x = A\cos(\omega t) + B\sin(\omega t)$ と仮定. 微分方程式に代入.  $\sin$ ,  $\cos$  で整理すると,

$$(\omega_0^2 - \omega^2)A + 2B\kappa\omega = 0, (\omega_0^2 - \omega^2)B - 2A\kappa\omega = \frac{F_0}{m}$$

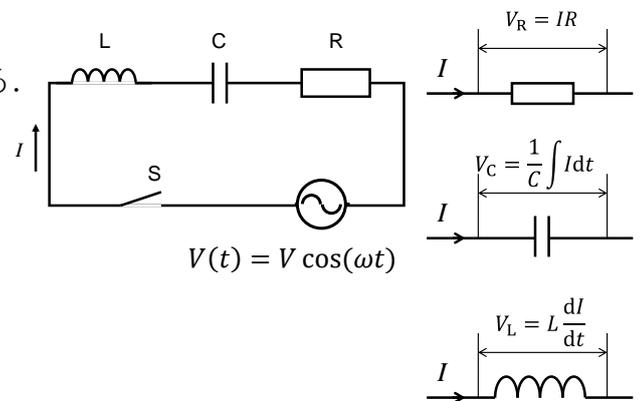
を得る. 解いて, (以下)

(3) 定常振動状態のおもりの振幅を求めよ(10).

(4)  $\omega_0$ が一定のとき,  $\frac{2\kappa}{\omega_0} = 0.01$ のときの最大振幅は $\frac{2\kappa}{\omega_0} = 0.1$ の何倍になるか(10).

Q3: 図のような LCR 直列回路を交流電源で駆動する.

(1) 電流  $I$  を従属変数として, 微分方程式を立てなさい(10).



(2)  $\omega_0^2 = \frac{1}{LC}$ ,  $\frac{R}{L} = 2\kappa$ と置きなおし, Q2(2)と(3)の結果を使い, 定常振動状態の電流の振幅を求めよ. また, 共鳴が起きたときの電流の振幅を求めよ. 以降は $\omega_0$ ,  $\kappa$ を使い解答のこと(5×2=10).

(3) 共振器に蓄えられるエネルギーがピークの 1/2 になる 2 つの周波数の差を共振器の共振半値全幅 $\Delta\omega$ と呼ぶ. 共振半値全幅 $\Delta\omega$ を求めよ. ※LCR 共振器に蓄えられるエネルギーは電流振幅の 2 乗で与えられる(10).